

帆走指示書
Sailing Instructions

RS GAMES SUMMER Championship
2vs2 team race in supplied boats (RS Zest) (Umpired)

大会日程: 2026年4月11日(土)

主催: 日本RSクラス協会
場所: 神奈川県葉山町 森戸海岸

帆走指示書(以下SI)の規則における「[NP]」の表記は、艇がその規則を破った別の艇に対して抗議を行うことはできないことを意味する。これによりRRS 60.1(a)が変更される。SIの規則における「[SP]」の表記は、もし破られた場合には競技委員会によって標準のペナルティが審問なしで適用される規則を示す。これによりRRS 63.1、A4およびA5 0.1(a)が変更される。

1 規則

- 1.1 本大会は、セーリング競技の競技規則(RRS)で定義される規則に従って行われる。
- 1.2 RRS 40.1は、水上で常に適用される。

2 帆走指示書の変更

- 2.1 帆走指示書に対する変更は、その効力が発生する日の09:00までに掲示される。ただし、レーススケジュールの変更は、その効力が発生する前日の20:00までに掲示される。

3 競技者との連絡

- 3.1 競技者への通知は、クラブハウス1階の公式掲示板に掲示される
- 3.2 [DP] その日の最初の予告信号が発せられてから、当日の最後のレースが終了するまでの間、緊急の場合を除いて、艇は音声やデータの通信を行ってはならず、全ての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

4 [NP] [DP] 行動規範

- 4.1 競技者および支援者は、レース委員会から合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、大会本部の一階ならびに、出艇場所の森戸海岸ビーチで表示される。
- 5.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『AP』における「1分」は「40分以降」と置き換えられる。

5.3 [NP] [DP]音響1声とともに D旗が陸上に表示されるまで、艇は水上に出てはならない。予告信号はD旗が表示されてから少なくとも40分後に発せられる。ただし予定された時間よりも早く発せられることはない。

5.4 強風などにより海上で長い間待機をするのが危険な状況である場合、D旗掲揚から予告信号までの時間を40分よりも早くする事がある。

その場合は、その旨をスキッパーズミーティング、ないしは緊急ミーティングを開いて参加者全員に伝える。

5.5 特定のクラスのみ出艇を許可する場合は、D旗の下に対象となるクラスのクラス旗を掲げる。

6 レーススケジュール

6.1 レースのスケジュールに関してはレース公示(NoR) 5を参照すること。

6.2 レースがまもなく始まることを知らせるために、本部船は予告信号の少なくとも1分前にオレンジのスタートライン旗を表示する。

6.3 レースの予定された最終日には15:00より後に予告信号を発しない。

7 クラス旗

7.1 RSクラス旗は、「黒地にRS」の旗とする

8 レースエリア

8.1レースエリアは神奈川県セーリング連盟の「E」海面とする。

※海面の位置は「付則A」の図を参照。

9 コース

9.1 コース、マークの通過順序、および各マークの通過側などをまとめた見取り図は「付則B」に示す。

9.2 最初のマークへのコンパス方位は、可能な場合、予告信号の直前までに本部船に表示される。

10 マーク

10.1 回航マークは上マークは黄色の円筒型、スラローム部分は赤色の円形ブイを使用する。マークの写真を付則Cに示す。

10.2 スタートマークはスターボードエンドの本部船のオレンジの旗を掲示するマストと、ポートエンドの白色の丸形ブイを使用する。本部船の写真を付則Dに示す。

10.3 フィニッシュマークはスターボードエンドの本部船の青色の旗を掲示するマストと、赤色の水滴型ブイを使用する。

11 障害物

11.1 レース海面内を航行しているレースに無関係なプレジャーボート、漁船、デインギー、シーカヤック、SUPなどの周囲10メートルの範囲内は障害物とみなす。

11.2 レースエリア内にアンカリングされた観覧艇(クルーザーMOMO)は障害物とみなす。

12 スタート

12.1 スタートラインは、スターボードエンドの本部船のオレンジの旗を掲示するマストと、ポートエンドの白色の丸形ブイの間とする。

12.2 すべての艇種が同時スタートとする

12.3 スタート信号後5分以内にスタートしなかった艇は、審問なしでDNSとして採点される。これはRRS 35、63.1、A4およびA5を変更している。

13 コースの次のレグの変更

13.1 小さなマークの移動(約5度または長さの10%まで)は、変更を信号で示すことなく行うことができる。これはRRS 33を変更している。

14 フィニッシュ

14.1 フィニッシュラインは、本部船の青色の旗を掲示するマストと、赤色の水滴型ブイの間とする。

14.2 [DP] [NP] フィニッシュ後、艇はフィニッシュエリアとまだフィニッシュしていないすべての艇から離れること。

15 ペナルティ

15.1 RRS付則P「規則42に関する特別な手順」を適用し、付則P2.1および付則P2.2を変更し、付則P2.3を以下のように削除する。

15.2 付則P2.1を以下に変更する。

大会中に1回目のペナルティーまたは2回目のペナルティーとして付則 P2.1 に基づくペナルティーを受けた場合、艇のペナルティーは、規則 44.2 に基づく「2回転ペナルティー」とする。ペナルティーを履行しない場合には、その艇は、審問なしに失格とする。

15.3 付則P2.2を以下に変更する。

艇は、大会中に3回目またはそれ以上のペナルティーを受けた場合、速やかにそのレースをリタイアしなければならない。速やかにリタイアしない場合には、その艇は審問なしに失格となり、その得点は除外されない。

15.4 P2.3を削除する。

16 タイムリミットとターゲットタイム

16.1 ターゲットタイムは、先頭艇のフィニッシュタイムが20分になるようにする。フィニッシュタイムがターゲットタイムの通りとならなくても救済の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

16.2 各レースの最初の上マークの制限時間は15分とする。制限時間内にどの艇も最初の上マークを通過しない場合、レースは中止される。これは救済の根拠とはならない。これはRRS 60.1(b)を変更している。

16.3 各レースの、レースのタイムリミットの目安は60分とし、レースのタイムリミット内にどの艇もフィニッシュしない場合、レースは中止される事がある。これは救済の根拠とはならない。これはRRS 60.1(b)を変更している。

16.4
トップ艇がフィニッシュした後15分以内にフィニッシュしなかった艇は、審問なしでDNFとして採点される。これによりRRS 35、63.1、A4およびA5が変更される。

16.5
レース委員会は、まだレースを続けている艇に対し、音響1声とともに、運営艇（航行中であつてもよい）からW旗を掲揚して、フィニッシュ・スコアを与えることができる。通告された艇は、コースの帆走を取りやめて次のレースのスタートエリアに向かうか、レースが終了した場合は陸上に帰着しなければならない。フィニッシュ・スコアは、通告された時点の艇の順のままコースを帆走してタイムリミット内にフィニッシュした際のフィニッシュ順位の得点が与えられる。通告された時点で複数の艇がオーバーラップしていた場合は、タイであったものとして得点する。レース委員会がこの手続きを使用するかしないかの決定は、救済を要求する根拠にはならない。これはRRS 28.1と62.1(a)を変更するものである。

17 抗議の申し立て

17.1 各クラスの抗議の締め切りは、当日の最後のレースの最終艇がフィニッシュするか、レース委員会が当日の競技を行わないことを示す信号を出してから60分とする。

17.2 各クラスの抗議の締め切り後30分以内に、申し立てに関する通知が掲示される。抗議審問は大会本部であるクラブハウスの室内で行われる。

17.3 RRS付則Pに基づき、RRS42に違反した艇、テクニカル委員会またはレース委員会から標準のペナルティを受けた艇、またはプロテスト委員会からペナルティを受けた艇のリストは掲示される。

18 得点方式

18.1 レーティングシステムを採用し、日本RSクラスのレーティングを用いてフィニッシュタイムに修正を行う。修正された時間に基づいて順位を決め、低得点方式を採用する。

14.2 周回の違う艇に関しては、所要時間を周回数で割って1周あたりのタイムに合わせて順位付けを行う。

14.3 1レースの完了で本大会は成立する。

14.4 シリーズの最大レース数は5レースとする。

14.5 シリーズ得点は、

- ・成立したレースが3レース以下の場合はすべてのレースが得点としてカウントされる。

- ・4～5レースが成立した場合は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計となる。

これは規則A2.1を変更している。

合計得点が同じ場合は規則A8に基づいてタイの解除を行う。

19 安全規定

19.1 [DP] RRS 40.1(個人用浮揚用具)が適用される。RRS40.1(個人用浮揚用具)は、水上にいる間は常時適用されるものとする。

19.2 [DP] [NP] レース中に艇がリタイアしてコースエリアを離れる場合、または当日の次のレースに出走しない場合、いずれかの運営艇にその旨を伝える必要がある。本人が伝えるのが難しい場合、支援艇、近くの参加者などいずれかの方法で伝える事。

19.3 [SP] [NP]海に出る前に、競技に参加する意向のある各競技者は、受付に用意された所定の用紙に署名をする必要がある。

また、レースが終了して着艇した際には、レース終了後(もしくは当日の競技を行わないことを示す信号を出してから)60分以内に、帰着したことを確認するための署名しなければならない。署名する競技者のリストは、主催委員会から提供され、大会本部に用意される。

この指示に従わない場合、審問なしに標準ペナルティが課せられる。標準ペナルティは、最初の違反に対しては1点、それ以降の違反に対しては3点とし、RRS 64.2に従って時間的に最も近く帆走したレースに適用する。これはRRS 63.1およびA5を変更している。違反した艇のリストは、各クラスの抗議の期限後30分以内に公式掲示板に掲示される。

19.5 安全のために、セールをサイズダウンする事ならび、マストフロートをつけることを認める。ただし、セールのサイズダウンを行った際にもエントリーしたクラスは変更されない。レーティングもエントリーしたクラスのものを使用する。

セールのサイズアップは認めない。

19.6 レース委員会の運営艇、およびプロテスト委員会の運営艇、およびRRS1.1によりレース委員会の許可を得てレース海面を航行している支援艇は、危険な状態にあると判断した艇に対してリタイアを勧告することがある。リタイアを勧告された艇は速やかにリタイアし帰着しなければならない。また、緊急救助を要すると判断した場合は、競技者の意思にかかわらず強制的に救助を行うことができる。この場合、艇からの救済の要求は認められない。これは規則60.2および62.1(a)を変更している。

20 [DP] [NP] 装備の交換

20.1 損傷または紛失した装備品の交換は、テクニカル委員会によって許可されていない限り、行ってはならない。交換の要求は、最初の適当な機会にテクニカル委員に伝える事。代替装備はクラス規則に適合する必要がある。

21 装備と計測チェック

21.1 [NP] 艇や装備は、随時、クラス規則・SI・NoRに準拠して検査される可能性がある。

21.2 [DP] [NP] 艇は、テクニカル委員会の合理的な要求に従う必要がある。

22 [DP] 装備の貸し出し

選手間、または主催団体から選手への装備の貸し出しを認める。これは選手をサポートし、無駄を減らすためのものである。

貸し出しによって艇体番号とセール番号が異なる場合などが生じた際は、競技者はテクニカル委員会(または大会計測員)に別のセール番号を使用する許可を求める必要がある。

許可は特定の状況に対してのみ与えられ、テクニカル委員会(または大会計測員)の判断に従う必要がある。この指示に従わない場合のペナルティは、違反に最も近いレースに1ポイントの加算が行われる。

23 [DP] [NP] ゴミ処理

基本原則にはこうある:

『参加者には、セーリング・スポーツが環境におよぼすいかなる悪影響も、最小限にすることが奨励される』

従って、すべてのセーラーは大会前、大会中、大会後にRRS47「ゴミの処理」に従うことが求められる。

このルールは海上のいかなる場所でも常に適用される。

この規則違反に対する罰則は、失格よりも軽い場合がある。

【重要】***ゴミを海上に投棄しない事。公式船またはサポートスタッフの船に渡してください***

26 [DP] [NP] バース

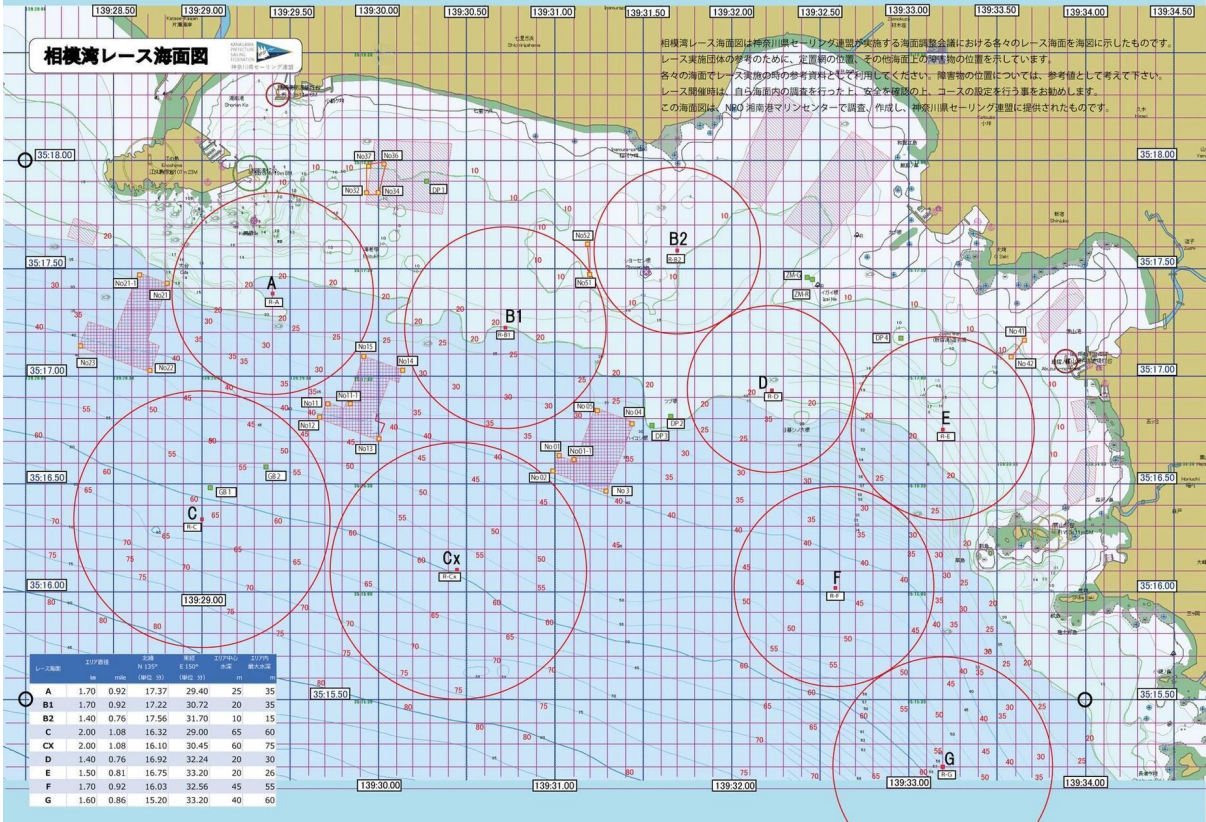
海岸に置かれた艇や船台は、指定された場所に置かれる必要がある。艇の場所や船台の置き方はビーチマスターの指示に従うこと。

27 プレスポート

大会事務局より許可を得たプレスポートは、レース中にレースエリア内を走行する権利を有する。また、プレスポートによるひき波などのレース参加艇への影響は救済の対象とはならない。ただし、明らかな進路妨害などが発生した場合はその限りではない。

付則A

レース海面 E海面の予定です

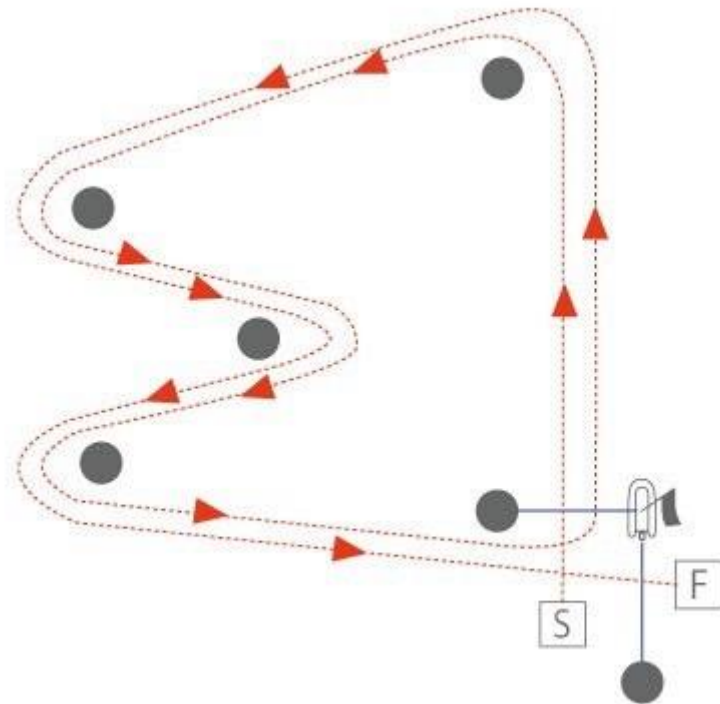


付則B

コース図

【注意】図はスケールにはなっていません。また、マーク間の角度は目安であり、実際にはわずかな違いが生じる可能性がある(これはRRS 60.1(b)の根拠とはなりません)。

コース1 トラペゾイドスラローム2周
※Quest、Vision、Feva、Zest、Quba、Teraは1周



付則C マークの写真



付則D 本部艇の写真

